

## 宿泊税を活用した事業【総充当額 15億円】 ※翌年度への繰越分1億円分を含む

### 混雑対策【充当額 3.7億円】

- ・ 月別観光客の繁閑差の改善（H15:3.6倍→H30:1.4倍），繁忙月の観光客集中を20%緩和（H15.11月:666万人→H30.3月:531万人）
- ・ まだまだ魅力が知られていない地域（大原，高雄等）への誘客を図り，地域や事業者と連携し，地域をさらに活性化
- ・ 市バス100号系統（京都駅～清水寺～☆園～平安神宮～銀閣寺）への「前乗り後降り」方式の導入
- ・ 手ぶら観光の推進，大幅に値下げした地下鉄・バス一日券（1,200円→900円）の積極的なPR等市バスから地下鉄への利用促進
- ・ 混雑やマナー違反といった課題解決に向けた地域の主体的な取組を支援

### 民泊対策【充当額 1.2億円】

- ・ 違法「民泊」の疑いがある2,454施設を調査・指導 → 99%に当たる2,430施設（H31.3月末時点）が営業中止，適正化

### 宿泊事業者支援【充当額 0.4億円】

- ・ 旅館の振興を図るため，専門家派遣による経営力向上支援や，従業員向け歴史文化体験研修等を実施
- ・ 宿泊施設の質の向上に向け，地域と調和し，貢献する宿泊施設を「京都らしい宿泊施設」として表彰

### 受入環境の整備【充当額 3.1億円】

- ・ 入洛前のマナー啓発や市内事業者が行う多言語対応等を支援
- ・ 観光地周辺トイレの洋式化・清掃回数を充実

### 京都ならではの文化振興・美しい景観の保全【充当額 4.8億円】

- ・ 京町家の魅力・保全の必要性等の普及啓発を実施
- ・ 流通・活用機会の確保に向けたマッチング制度を創設
- ・ 小中学生が華道・茶道，能・日本舞踊等に触れることができるワークショップ，公演を計88回開催
- ・ 無電柱化事業を推進（先斗町通，長辻通，銀閣寺道）
- ・ 京都市内産の木材（みやこ杉木）を活用し，巽橋の木製高欄を改修

### 宿泊税導入経費【充当額 2.2億円】

先斗町の無電柱化工事完了後イメージ



巽橋木製高欄の改修

